



Gaumont presents

Lancelot du Lac

A Film by Robert Bresson

Luc Simon Laura Duke Condominas Humbert Balsan Vladimir Antolek-Oresk Patrick Bernard Arthur de Montalembert

produced by Jean Yanne et Jean-Pierre Rassam director of photography Pasqualino De Santis music by Philippe Sarde

directed and screenplay by Robert Bresson

ロベール・ブレッソン 監督

湖のランスロ

孤高の映画監督による幻の傑作、ついに日本初劇場公開。



騎士道精神の崩壊と許されざる恋を描いた
ブレッソン悲願の企画
デジタルリマスターの美しい映像で、ついに日本初公開

『抵抗(レジスタンス)―死刑囚の手記より』(56)『スリ』(59)『やさしい女』(60)などで知られるフランスの映画監督、ロベール・ブレッソン。プロの俳優をキャストリングせず素人を起用するなど、過度な演出を徹底的に排除して真実そのものを追求する映像表現(シネマトグラフ)を標榜。ゴダールらヌーヴェルヴァーグの作家たちをはじめ世界中の映画人に多大な影響を及ぼし、寡作ながら唯一無二の傑作を生み出してきた彼の、日本では特集上映などを除き劇場未公開だったふたつの作品『湖のランスロ』『たぶん悪魔が』が40年以上の時を経てついに公開。しかも両作とも最新の技術を使って4Kデジタルリマスターによって美しい映像が見事に甦る。

時は中世。城に帰還したものの、聖杯探しに失敗し多くの戦死者を出したアルテュス王の円卓の騎士たち。その中のひとり、ランスロは王妃グニエールとの道ならぬ恋に苦悩していた。神に不倫をやめると誓うランスロだったが、グニエールにその気はない。仲間のゴウヴァンはランスロを心配するものの、権

力を手に入れようと企むモルドレッドは罪深きランスロを貶め、自分の仲間を増やそうと暗躍する。団結していたはずの騎士の間に亀裂が入り始め、思わぬ事態が引き起こされるのだった……。アーサー(アルテュス)王伝説に登場する王妃グニエールと円卓の騎士ランスロの不義の恋を中心に、騎士道精神が崩壊していく様を現代的視点で描いた時代劇。監督三作目の『田舎司祭の日記』(50)の直後に製作しようとしたものの予算の問題などで挫折。その後も何度か映画化を試みるも成立しなかった企画が20年以上経ってついに実現、ブレッソン渾身の一作として迎えられ、第27回カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞を受賞した。騎士たちのシヨッキングな殺戮シーンから始まるという従来のブレッソン作品からは想像もつかないような異色作でありながら、王への忠誠心、王妃への愛、そして神への誓いの間で苦悶する主人公はじめ、全編ブレッソン独自の美学に貫かれている。撮影は『ベニスに死す』(71)といったヴィスコンティ監督作や『たぶん悪魔が』『ラルジャン』(83)などの、バスクアリーノ・デ・サンティス。



Lancelot du Lac 監督・脚本・台詞：ロベール・ブレッソン 撮影：バスクアリーノ・デ・サンティス
出演：リュック・シモン【湖のランスロ】 ローラ・デュエック・コンドミナス【王妃グニエール】 アンペール・バルザン【ゴウヴァン】
1974年 フランス/イタリア カラー ヴィスタ 84分 配給：マーメイドフィルム/コピアフィルム 宣伝：VALERIA © 1974 Gaumont / Laser Production / France 3 Cinema (France) / Gerico Sound (Italie)

<https://lancelotakuma.jp>

『湖のランスロ』『たぶん悪魔が』同時公開!
3月11日[金]よりロードショー
お得な2作品セット特別鑑賞券¥2,200(税込)発売中!

★オリジナルポストカード2枚付(数量限定)



JR新宿駅東南口IGAP並びNOWAビルB1F
新宿 シネマカリテ
03(3352)5645
<http://qualite.musashino-k.jp>
全席指定/入替制